

第15回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」の議事概要について

1. 開催日時：令和3年4月8日（木）12：30～14：00

2. 開催方式：WEB会議

3. 委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）

角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）

野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）

箱石 憲昭（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長）

◎深川 良一（立命館大学理工学部 特命教授）

◎印は委員長（50音順・敬称略）

オブザーバー：滋賀県・京都府・大阪府

4. 議事概要：

委員会は委員5名全員の出席により、大戸川ダム建設事業の進捗状況や今後の事業費及び工期の見通しについて説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

<大戸川ダム建設事業について>

- ・約400億円の残事業費（内、ダム本体関連の工事費約200億円）に変動要因があることや、工期短縮を検討することなどの報告について、ダム本体等の調査・検討を実施していない現時点の評価としては概ね妥当である。
- ・今後、ダム本体等の調査・検討を進める中で、流水型ダムの特性、特に、斜面及び止水対策や土砂吐きの設計等を考慮し、新技術や他ダムの事例等を参考にしつつ、コスト縮減や工期短縮を含め、最適な工法、形式を検討すること。加えて、上下流一体となった土砂管理の観点からも検討を行うこと。
- ・今後の調査・検討の進捗に応じ、定期的に、事業費や工期の見通しについて、本委員会に報告されたい。

以 上